



特別展

美と用の煌めき

—東本願寺旧蔵とゆかりの品々—



2024. 10/8(火)—11/28(木)

開館時間:10時~17時[入館は16時30分まで]

休館日:日・月曜日[ただし10月21日(月)、11月10日(日)、11月24日(日)、11月25日(月)は開館] 観覧料:一般・大学生=500円

主催:大谷大学博物館

後援:京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、真宗大谷派(東本願寺)、エフエム京都

大谷大学博物館 Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学警流館1F

[上・下]円山応立 春秋花鳥図 江戸時代(19世紀) 真宗大谷派(東本願寺)[前期(10月8日~11月2日):右隻、後期(11月5日~11月28日):左隻]
[中央左]伊藤若冲 雪柳雄鶏図(部分)(通期展示) 江戸時代(18世紀) 似島美術館



Otani University Museum Special Exhibition 2024

The Radiance of Beauty and Function: Articles Formerly Possessed by Higashi Honganji and Related Works

江戸時代当初の東本願寺における画事は、京狩野派の祖狩野山楽（一五五九～一六三五）、二代山雪（一五九〇～一六五二）、そして三代永納（一六三二～一六七七）、四代永敬（一六六二～一七〇二）らが担ったと記録に残りま

す。しかし、その後の東本願寺に伝来した作品を見ると、京都画壇のみならず、狩野探幽（一六〇二～一七四四）ら江戸の狩野派や、近代では院展作家の作品も含まれ、また絵画のみならず工芸分野にもすぐれた作品の数々を所蔵していたことがわかります。

本展では、その様相を、第一章歴代のディレクションと東本願寺絵所、第二章歴代の手ずから、第三章近世・近代の東本願寺什物から、の三つの章で紹介いたします。第一章では東本願寺の歴史に大きく関わる作品を、第二章では歴代自らによる、あるいはその意向を反映して制作された作品を、第三章ではかつての東本願寺が所蔵した近世・近代の巨匠たちの作品を中心にご覧いただけます。伊藤若冲（一七一六～一八〇〇）が活躍した頃の東本願寺第十九代乗如上人（一七四四～九二）は、若冲作品の熱烈なファンで、彼の収集品であったとみられる若冲の作品も知られます。

本展を通じて、かつての東本願寺をとりまいた美術品制作と伝世の環境に、思いをはせていただくことができたら幸いです。



3



1

関連行事

講演会

「東本願寺コレクションの成立とその背景」

日時：2024年10月19日（土）14:00～15:30

場所：響流館メディア・ホール

講師：國賀由美子（文学部歴史学科教授、

大谷大学博物館学芸員）

講演会

「東本願寺大谷家藏品売立について」

日時：2024年11月2日（土）14:00～15:30

場所：響流館メディア・ホール

講師：青木馨氏（同朋大学仏教文化研究所客員所員、

真宗大谷派蓮成寺住職）



4



5



大谷大学博物館 Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学響流館1F

Tel.075-411-8483 / Fax.075-411-8146

https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

・地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ

・市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車

・駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

ただし身障者の車の場合は事前にご連絡ください。



6



2